

分類：医療・社会・行動科学 III

授業科目名：生活習慣病と臨床研究（Clinical Research and Lifestyle-related Diseases）

対象学年：3年次必修

時間割コード：71583006

開設学期等：第17週

単位数：1

1. 主任教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

2. 担当教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

福田 雅幸（病院教授、歯科口腔外科、6186）

大田 秀隆（教授、高齢者医療先端研究センター、6239）

三浦 昌朋（教授、薬物動態学講座、6310）

ロザリンY（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6466）

山崎貞一郎（助教、衛生学・公衆衛生学講座、3260）

前田 深春（助教、情報制御学・実験治療学講座、6067）

田所 大典（非常勤講師、秋田県健康福祉部）

遠田 耕平（非常勤講師、秋田赤十字病院）

豊島 優人（非常勤講師、秋田県大仙保健所）

南園佐知子（非常勤講師）

渡部 ゆう（非常勤講師、東京都福祉保健局保健政策部）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を習得して診療を実践していくために、生活習慣（食生活を含む）とそのリスクについて学ぶ。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM等について学ぶ。

3-3～7, 5-1～5

【授業の概要】

生活習慣（食生活を含む）に関連した疾病の種類、病態と予防治療について学習する

医療の発展における臨床研究の重要性について学習する。

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明できる。

4. 教科書・参考書

NEW 予防医学・公衆衛生学（南江堂、改訂版第4版 2018年）

疫学 - 医学的研究と実践のサイエンス（メディカル・サイエンス・インターナショナル、2010年）

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂、2022年度版）

公衆衛生がみえる（MEDIC MEDIA、2022-2023）

5. 成績評価の方法

統一試験、形成評価（60%未達の場合は課題を課す）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

最後の講義時間に形成試験を行うので、配布資料・教科書等により予習・復習を行うこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月4日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：終末期医療と地域における看取り 終末期ケアと尊厳ある看取りについて説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
2	9月4日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：飲酒と疾病 飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
3	9月4日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：健康管理 ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
4	9月4日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：生活習慣とオーラルヘルス 歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。	田所 大典	医学系研究棟4階6講義室
5	9月4日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：薬害 医薬品等による健康被害、医薬品副作用救済制度、および安全対策規定	前田 深春	医学系研究棟4階6講義室
6	9月5日 (火)	1-4 時限	講義	テーマ：生活習慣と癌 健康日本21，健康増進法，がん対策基本法，予防・疾病対策，健康診断・指導，生活習慣について概説できる。 ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。 生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質（quality of life QOL）向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
7	9月5日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：食事と糖尿病 糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。栄養、食育、食生活を説明できる。	山崎貞一郎	医学系研究棟4階6講義室
8	9月5日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：高血圧とガイドライン 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
9	9月5日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：口腔ケアと疾病 口腔疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。	福田 雅幸	医学系研究棟4階6講義室
10	9月6日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：医療評価 医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構（International Organization for Standardization ISO）、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。	南園佐知子	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	9月6日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：医学と倫理と医療関連法規 医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
12	9月6日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：医学研究と倫理 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。 臨床試験・治験（第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準（Good Clinical Practice GCP ））を説明できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
13	9月6日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：生活習慣と脳卒中 脳卒中とリスクファクター、健康づくり支援のための環境整備等について説明できる。	豊島 優人	医学系研究棟4階6講義室
14	9月6日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：保健所の業務と感染症対策 感染症法の概要と届出義務を説明できる。 地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 キャリア開発能力を獲得する。	豊島 優人	医学系研究棟4階6講義室
15	9月7日 (木)	1-4 時限	講義	テーマ：母子保健 各ライフステージの健康問題（母子保健）を説明できる。 母子保健総論と各論（母子保健施策の概要、主な母子保健施策、母子保健法、疾病の予防と早期発見、出産・育児に関わる制度、母体保護法、先天異常と遺伝カウンセリング、児童福祉法、児童虐待防止法、母子保健の統計、資産、新生児・乳児死亡、周産期死亡、小児の死亡）について説明できる	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室
16	9月7日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：認知症と公衆衛生 認知症高齢者の医療・介護・福祉政策について説明できる。	大田 秀隆	医学系研究棟4階6講義室
17	9月7日 (木)	7-10 時限	講義	テーマ：ワクチンと感染症 予防接種の意義と現状を説明できる。国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	遠田 耕平	医学系研究棟4階6講義室
18	9月8日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：医薬品と法令 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。 副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。	三浦 昌朋	医学系研究棟4階6講義室
19	9月8日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：臨床研究 介入研究（臨床研究、ランダム化試験）を概説できる。	野村 恭子	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
20	9月8日 (金)	5-8 時限	講義	<p>テーマ：東京都の保健衛生行政 感染症法の概要と届出義務を説明できる。 地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 キャリア開発能力を獲得する。</p>	渡部 ゆう	医学系研究棟4階6講義室
21	9月8日 (金)	9-10 時限	形成評価	<p>テーマ：終了時客観試験</p>	野村 恭子 ロザリン Y 山崎貞一郎	医学系研究棟4階6講義室